

平成 27 年度 【教育問題検討委員会】 第 1 回専門委員会 議事録

開催日 : 平成 27 年 05 月 09 日 (土)

場 所 : 東筑摩塩尻教育会館

参加人数 :

委員長 : 粟津原佐知

副委員長 : 洞信夫

事務局 : 石田弘子

書 記 : 小鹿良作

★議 事 録

1. 委員長挨拶 粟津原委員長

2. 自己紹介(他己紹介)

ペアブレイクとして、2 人一組になり、お互いのプロフィールと、24h 以内にあった思い出の出来事を聞き取り、紹介する。

3. 年間計画 (27 年度) 説明

①第 1 回 学級 PTA について

②第 2 回 部活動(朝練/夜練)について

③第 3 回 いじめ問題

④第 4 回 まとめ・発表

4. 学級 PTA について (第一回専門委員会テーマ)

4~5 名の小グループを作り、それぞれのグループ内でリーダーと書記を決め、グループで話し合った結果を発表する形式で進めた。

【問題提起】 : 山形小 久保田校長

各単 P での実情と問題点を説明

- ・あまり議題がない
- ・先生への要望事項や先生からの連絡事項が多い

(参加する目的がみつからない)

- ・地域/学校によって差があり

あるクラスの方は PTA の時にお茶やお菓子を持参して参加されていて、そのクラスは参加率が高いなどを紹介

【グループ 討議結果】

- ・グループ 1

①必要性があまり感じられない

②保護者間であまり出なくても良いんじゃないかという雰囲気になっている。

③親子ゆなどをやってみてもゆだけ参加される人も多い

- ・グループ 2

①宗賀小 2/3 (60%) 参加、桔梗小 1/2 (50%) 参加、筑北小 (90%) 参加等、参加率の高い単 P もある。

②父親/男性の参加率が低い

③PTA の必要性を感じないのは、子供が親の方を見ていないのでは？

親の方が自ら子供のことを見る必要性を感じる必要がある。

- ④学校に任せきりではだめ
- ⑤群 P からのフィードバックをもう少し載きたい
- ・グループ 3
 - ①学級 PTA は何のためにあるのか？
 - ②仕事を休んでまで良く必要がある？
 - ③学校の現状がわかる良い機会
 - ④中学校での参加率が低い
- ・グループ 4
 - ①学校に行く機会はありませんので、情報交換の場としては良い機会
 - ②父親が参加することで活性化するのは？

5. 感想

- ・時間の都合上、グループ 討議は時間が短かったが、初対面の方との討議の割には、いろいろな意見を交換できた。
- ・前年度役員の方からは、初回でここまで進められたことは、とてもよかったと思いますとのこと
例年は自己紹介となかなか意見がでないで時間がきてしまうことが多かったとのこと

★「専門委員会 運営案」作成

	内 容
話し合いのテーマ	毎回、話題性の高いテーマを設定して、その日の委員会で完結していく。
話し合いの進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループ（4～5人くらい）に分かれて意見を出しやすくして議論する。 ・小グループの議長、書記を決めて記録してもらう
進行表 タイムスケジュール	①活動内容の問題提起：10分 ②グループ討議：15分 ③まとめ：5分
到達目標	話題性の高いテーマを討議して理解を深め、自分自身の意見を持つ。

★「専門委員会 年間計画表」作成

年間共通テーマ	学校、地域、父母とのつながりについて それぞれの役割と関係性について
第 1 回委員会 5 月 9 日	討議テーマ 学級 P T A のありかたについて
第 2 回委員会 9 月 27 日	討議テーマ 朝練について
第 3 回委員会 1 月 23 日	討議テーマ いじめ問題について
第 4 回委員会 2 月 13 日	まとめ

★「専門委員会 情報交換シート」集計

①郡P専門委員会に関連して、所属するPTAの活動の中で、紹介したい、自慢(?)したい、お勧めしたい活動や事例があればご記入下さい

- 学級PTA参加率が高い学校もある。宗賀小 2/3 (60%) 参加、桔梗小 1/2 (50%) 参加、筑北小 (90%) (第一回専門委員会議事録より)

②委員会に関連する内容について、学校、単位PTAで問題や課題だと感じることがあればご記入ください。

- 学級PTAは何のためにあるのか?(参加する目的がみつからない、必要性があまり感じられない等)
- 群PTAからのフィードバックをもう少し戴きたい(単P会議参加、郡PのHP、広報誌活用)

③郡P専門委員会として、掘り下げたい内容、実施したい研修会(テーマ、講師)があればご記入下さい。

- 未定(以降へ継続審議とする)